

# LA2028大会に向けたオリンピック強化委員会の強化戦略アウトライン (2024年11月30日時点)

✓ 2022年度以来掲げてきた3つの方針を継承しつつ、セーリング競技の持続的成長を更に加速できる体制を整える為に、「**より強く(Enhance)**、**よりひろく(Expand)**、**未来へ繋げる(Lead to the future)**」をキーワードとして各種施策を展開します。

## ① **より強く(Enhance)** : LA2028大会での連続メダル獲得(470クラス)、1種目以上の入賞

➤ Paris2024大会での実績を一過性のものとせず、LA2028大会では引続き470MIX種目でのメダル獲得と、その他種目で1種目以上の入賞を目標値に設定し、ターゲットアスリート (NT-S、NT-A選手) のサポート・強化を行う。組織内に「LA2028メダル獲得PT」を設置。

## ② **よりひろく(Expand)** : LA2028大会に向けた次世代強化/LA2028大会での国枠獲得種目の維持・拡大

～「HOPE育成プログラム」の深化、HOPE選手/NT・Next NT・海外派遣選手をタイアップした個別強化施策の実施～

➤ HOPE選手の成長に応じて育成プログラムの内容をより実戦・個別強化重視の方向性にシフト。NT・Next-NT・海外派遣選手並びに各クラス協会等とタイアップをし種目別合宿を展開し、各種目における国内競争力の維持・向上していくことで、代表枠獲得種目の維持・拡大を図る。

## ③ **未来へ繋げる (Lead to the future)** : Brisben2032以降を見据えた持続的成長可能な組織体制整備

～JSAF自己財源の拡充、強化拠点機能の強化、スタッフ人材育成、育成・強化教材のアップデート・横展開～

- スポンサー獲得等による自己財源を拡充することで毎年発生するJSAF本体からの準備金引当を実質的にゼロとし、自律的な運営を可能にする。
- NTCを含む各強化拠点の自治体等と連携し、施設・備品・医科学連携に関する機能強化を図り、質の高い合宿が遂行可能な環境構築を行う。
- コーチ、トレーナー、その他専門スタッフが選手の指導経験や海外遠征帯同経験を積める実戦の場を提供し、強化スタッフの人材育成を行う。
- 組織内外での育成・強化の標準化を目的として、HOPE育成プログラム等での指導に活用する教材をアップデートし、横展開を行う。